

## 学校において麻しん患者が発生した際の情報提供の例

保護者の皆様

平成〇〇年〇月〇日

〇〇区立〇〇小学校

校長 〇〇 〇〇

## 麻しん（はしか）の流行に関してのお知らせ

保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、「はしか」の流行と対応について、〇月〇日お知らせをしたところですが、新聞等でご存じのとおり全国的に「はしか」が流行しております。

3月末頃より近隣の高等学校を中心に「はしか」の集団発生の情報提供がありました。

「はしか」は学校における予防すべき伝染病に指定されており、大変伝染性の強い病気です。時には集団で発生し、重症化する場合があります。

本校でも〇月〇日に発症者が出ましたので、以下のことにご注意いただき、もしも疑わしい場合は早急に学校へお知らせをいただきますようお願いいたします

\* ワクチン未接種の方は、早急に接種すると発病を抑える効果があります。

また、1回のみ接種者も2回目を追加接種すると更に発病を抑える効果が上げられます。定期接種ではないのでいずれも有料です。

できるだけ早急にかかりつけ医にご相談ください。

○しばらくの間、毎朝検温を行い、37.5℃以上の場合には登校を控え、学校に連絡し、かかりつけの医療機関で受診してください。

○医療機関で受診する際には、直前に電話で同じ学校や周辺の学校ではしかが発生していることを伝えて、受診の方法を聞いてください。

○兄弟関係で感染する場合がありますので、交友関係や習い事等にもご注意ください。

## ★「はしか」の症状について

- 空気感染・飛沫感染であり感染力が大変に強い。
- 感染後の潜伏期間は10～12日であり、その後に発症する。
- 38℃ぐらいまで発熱し、その後熱が下がるが、また高熱が出るようになる。
- 症状としては風邪によく似ているので間違いやすい。
- せきが出て発熱。この時期に他の人にうつす可能性が最も高い。
- 2回目の発熱の時に顔を中心に発疹が始まり全身に広がる。
- ワクチン接種を行っても確率は少ないがうつる可能性がある。

☆発疹に伴う発熱がおさまっても、3日間は出席停止とします。

◆明日より毎朝検温をするように、「検温カード」をお渡しいたします。毎朝検温を済ませ、学校に持たせてください。「はしか」の集団発生を防ぐためなので、よろしくご協力ください。